

# 宇陀市DX推進計画＜概要版＞

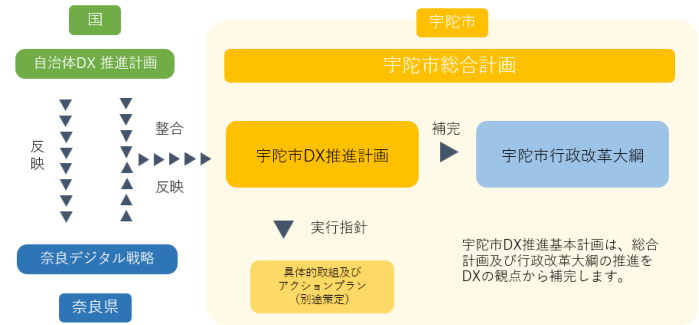
## はじめに・計画期間

将来的な行政リソースの減少が避けられない中で、市民の利便性を維持・向上させ、本市の豊かな魅力を次世代へ繋ぐためには、デジタルの力を活用した抜本的な行政変革(DX)が必要です。

本計画は、宇陀市第2次総合計画 後期基本計画(以下、「後期基本計画」)が目指す「生きがいをもって暮らせる魅力ある健幸なまち」を実現するため、DXを手段として活用しつつ、市民及び地域コミュニティ・行政・民間事業者の三者が手を取り合い行う次世代のまちづくりを推進するものです。

計画期間は、後期基本計画との整合を図るため、令和8年度から令和11年度までの4年間としました。

## 計画の位置づけ



## 基本理念・方針



### デジタルの力で、将来も選ばれ続ける宇陀市に オール宇陀で取り組むDX



## 推進体制

CIO(副市長)をトップとし、全庁横断的にDXに取り組む体制を整備します。



## 目指す「まち」の3つのビジョン

市民が「暮らし続けやすい」まち  
(市民からの目線)

～いつでもどこでも行政手続が可能で、  
日常生活がより便利に、心地よくなる～

職員が「働き続けやすい」まち  
(職員からの目線)

～アナログな定型業務から解放され、職員が市民に  
寄り添うクリエイティブな業務に注力できる～

民間事業者が「関わりを持ちたいと思える」まち  
(事業者からの目線)

～革新的で魅力的な取り組みが行われ、公民連携による  
新たな価値創造や事業成長が期待できる～

# 宇陀市DX推進計画<概要版>

## 重点取組施策

### ●暮らしを便利にする「市民サービスのDX」

#### ☆フロントヤード改革の推進

「どこでも・いつでもできる行政手続」の推進

#### ☆キャッシュレス決済の導入

窓口手数料の電子決済化の推進

#### ☆防災・インフラのスマート管理

情報発信の拡充・災害情報把握体制の構築

#### ☆教育現場のICT活用高度化

デジタル教科書・学習支援ツールの活用

#### ☆健康増進・福祉のデジタル支援

市民が自身の健康データをデジタルツールで確認

#### ☆移動支援サービスと連動した地域ポイントサービスの導入

全世代が住み続けられる環境を整備

## 行政のDX

### ●行政を効率化する「業務のDX」

#### ☆アナログ規制の点検

事務事業のデジタル化の推進

#### ☆EPBM(データに基づく政策立案)の推進

行政データの可視化・効率的な資源配分

#### ☆市有ファシリティにかかるデジタルマネジメント

インフラ・公共施設の運用管理のデジタル化

#### ☆業務の棚卸し・効率化

費用の有無にとられない業務の見直し・AIの活用



## 行政のDX

### ●組織と人を育てる「人材のDX」

#### ☆ハイブリッドワークの確立

テレワーク環境の整備

#### ☆デジタルマインドセットの醸成

全職員に対し研修を継続的に実施

## 地域社会のDX

### ●宇陀市の暮らしを支える産業のデジタル化

#### ☆スマート農業・林業の推進

担い手不足の解消と生産性の向上

#### ☆地域経済のデジタル化支援

公民連携による新たなビジネスモデルの創出

#### ☆次世代交通モデルの構築

公共ライドシェア等の深化

#### ☆外部との接点におけるDX

市民や観光客・事業者との接点においてデジタルツールの利用を促進

## 行動指針(DXマインド)

#### 市民向けDXの追求

常に市民の立場に立って設計する。

#### スモールスタート&クイックウィン

小さく始めて早く成果を出し、改善を繰り返す。

#### 手段と目的を混同しない

デジタルはあくまで手段。実現したい「価値」を見据える。

#### 行動と挑戦を恐れない

前例がない取組であっても、必要であれば挑戦する。

#### どうやったらできるかを考える

できない理由を探すよりも、どうすれば実現可能かを議論する。

※重点取組施策については、今後の議論に応じて適宜変更・追加される可能性があります。上記施策を工程表をもとに、今後4年間で実現することをめざします。